

講演概要

演 題 「ローマの平和と日本の繁栄 —Pax Romana et Pax nipponica」

講 師 独立行政法人国立美術館理事長、国立西洋美術館長
日本学士院会員 青柳正規 氏

300年にも及ぶ繁栄の時代を築いたローマ帝国は、史上最強の国と考えられている。繁栄の理由を考えながら、日本の現状と将来を考察していただいた。

□ 講師紹介

1944年大連生まれ。

1967年東京大学文学部美術史学科卒業。

1969～1972年ローマ大学に留学、古代ローマ美術史・考古学を学ぶ。文学博士。

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授、同研究科長、文学部長、同副学長を経て、現在、独立行政法人国立美術館理事長、国立西洋美術館長。東京大学名誉教授。2006年紫綬褒章。2007年日本学士院会員。

ポンペイ「エウローパの舟の家」(1974-78)、シチリアのリアルモンテのローマ時代別荘(1980-86)、タルクィニア近郊のローマ時代の別荘(1992-2003)、ソンマ・ヴェスヴィアーナの所謂「アウグストゥスの別荘」(2002-)の発掘調査にあたる。

著作に、『エウローパの舟の家』(地中海学会賞)、『古代都市ローマ』(マルコ・ポーロ賞、浜田青陵賞)、『皇帝たちの都ローマ』(毎日出版文化賞)、『トリマルキオの饗宴』、『ポンペイの遺産』(小学館)、『人類文明の黎明と暮れ方』(講談社)、ジュゼッペーナ・チェルツリ・イレツリ氏との共著に『ポンペイの壁画』(岩波書店)、糸井重里氏との共著に『ポンペイに学べ』(朝日出版社)、などがある。